

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2016. 5
No.273

2016年度新入社員、入社おめでとう

4月1日より新入社員17名が入社してくれました。イナテック100周年の2051年には50代半ばになっている方々で、まさしく100周年の中心になる社員たちです。また、今年度は鳥取県から4名入社していただきました。鳥取工場の将来を担う社員です。これから我々がいかに育てあげるかにかかっております。

今年度の入社式では、新入社員に対して、「与えられた仕事を一所懸命実行し、まわりの人が感動するような仕事をする」

そして、「失敗にめげずチャレンジする。失敗は成長への薬なのだ」

ということをお話ししました。

さらに次のようなメッセージを送りました。

素直な人が伸びる

成功しない人の四条件

- 一、言われた事しかしない人
- 二、楽をして仕事をしようとする人
- 三、続かないという性格を直さない人
- 四、すぐに不貞腐れる人

人間は趣味では絶対に人格は磨かれない

人間の人格は、仕事に打ち込む中で磨かれていく

新入社員諸君、いっしょに“もつといい会社”にしよう！

株式会社イナテックサービス 特例子会社への思い

イナテックサービスは、4月1日付けで障がい者雇用促進法に基づく特例子会社として、西尾市で初めて(県内では17番目)認定を受け、13日に西尾公共職業安定所長より決定通知書を授与されました。

設立経緯

私は日頃から、株式会社イナテックがお世話になっている地域社会に対して、何らかの形で恩返しできる会社をしたいとの思いで経営してきました。

株式会社イナテックサービスを設立したのは、障がいを持っている方の働ける職場を提供することで、地域社会に貢献したいと考えたからです。

障がい者がそうでない人に比べて就職が難しいのは、障がいのせいではなく、働ける場所がないからだと思ってきました。働く場所を与えられた人は、働きながら成長していきます。人の可能性には限りがありません。

こうした思いもあり、ハローワーク西尾に障がい者の雇用について相談したところ、特例子会社の提案、援助をいただき、厚生労働省より特例子会社の認定を受けることができました。今後は、障がい者が活躍できる職場づくりにより一層取り組んで参ります。

設立目的

障がいやハンディキャップを抱えながらも、

それらを克服しようと一所懸命に頑張っている人のために、働きやすい職場環境・人的環境を与えることは社会的役割です。

その役割を果たすために、安定した仕事の供給をするとともに、障がい者の方々の職場的自立のために設立しました。

ノーマライゼーションの福祉理念を社会に向けて発信します。

（ノーマライゼーション・・・障がい者の生活状態が健常者の生活状態と同じであることは、障がい者の権利である。障がい者は可能な限り同じ条件のもとにおかれるべきであり、そのような状況を実現するための生活条件の改善が必要である、とする考え）

使命

お客様や地域の方々を明るく照らす『灯り』となつて真心でサービスをお届けし社会に貢献します。

スローガン

皆の笑顔がたえない会社
笑顔でサービスする会社
笑顔で笑顔をプレゼントします。

イナテックサービスでは知的・精神・身体障がいのある社員の皆さんが、清掃や配膳、ゼロエミッションに向けての資源分別などを業務としてしています。

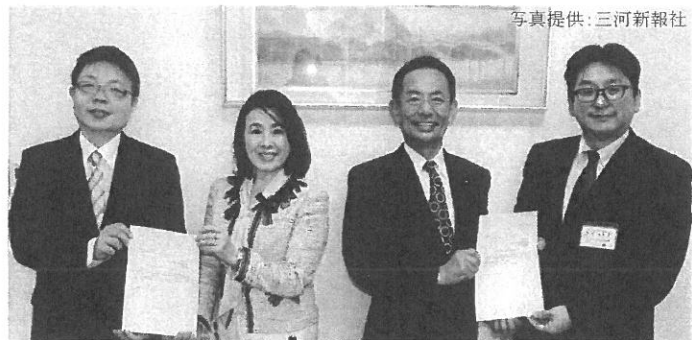
障がい者雇用率という数字だけでなく、障がい者の人たちの特性を理解した職場をつくるのが大切です。

今後も障がい者雇用の促進のため、一歩ずつ活動してまいりますので、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

三五

禅宗に曰く、「饑え来たりて飯を喫し、倦み来たりて眠る」と。詩旨に曰く、「眼前の景致、頭の語」と。蓋し極高は極平に寓し、至難は至易に出で、有意の者は反って遠く、無心の者は自から近きなり。

禅の極意を説いて言う、「腹がへれば飯を食い、腹がくちくなれば眠る」と。また、詩の極致を説いて言う、「ただ目前の景色を写し、ふだん用いる言葉で述べる」と。思うに、（禅において）、最も高遠な道は、最も平凡なことの中に宿っており、最も至難な理は、最も平易なことの中から出てくる。また、（詩において）、ことさら意を用いたものは、反って真実に遠ざかり、無心なものの方が、反って自然と真実に近いものである。



4月13日 西尾公共職業安定所にて認定書を受け取る

大橋部長 稲垣副社長 稲垣社長 林資典所長

株式会社イナテックサービス

公共職業安定所